

ーPM 短期専門コースー

SP-T1 スマート工場構想企画人材育成セミナー

第5回 開講案内

開催日：2025年7月7日（月）及び8日（火）各10時～17時

場所：エンジニアリング協会（7日）、雪印メグミルク(株)阿見工場（8日）

2025年4月21日
一般財団法人 エンジニアリング協会

1. SP-T1 コースとは

本コースは、工場スマート化プロジェクトの企画を立案し、構想段階をリードできる成果志向のPM人材の育成を目的とするものです。

具体的には、製造業（特に加工組立を中心としたディスクリート系）における工場の機能的な全体像を理解して、自社にとっての「スマート工場」へのロードマップを作成できるようにになっていただくことを狙っています。

2. 第5回 SP-T1 コースの特徴

スマート工場の実現ロードマップを描く上で不可欠な工場実務の基礎および全体像を实地見学も交えて学んでいただきます。工場の生産ライン設計、生産管理および情報システムの構築、運用等で経験豊富な講師が講演と演習を実施します。

スマート工場（工場DX）実現に向けて、人材育成の観点では以下の課題への対応が急務となっています。

- ・ 本社DX部門、企画部門等に所属するマネージャー、エンジニア層が、実は工場の実務に詳しくない。
- ・ 製造部門のDX推進実務者等は、直接担当する業務には詳しい一方、隣接・関連業務について十分な知識を持っているとは言えない。
- ・ IT系人材（コンサルタント、システムエンジニア）とOT系人材（生産現場、制御）のコミュニケーションが難しい。
- ・ 多種、多様なデジタル技術、情報システムがあり、それらの関係性や業務にどう役立つかが複雑で分かりにくい。

第5回SP-T1セミナーでは、こうした課題へ対処するため、

- ・ 製造業の業務及びそれを支える情報システムの全体像について、体系的な知識を学んで頂く
- ・ 製造業に従事する様々な職種（企画、SE、製造現場等）の方々が協力し、自社に最適な戦略およびロードマップを描けるようになって頂く
- ・ スマート化、DXが実現している茨城県の実食品工場を実際に見学して頂く

といった2日間にまたがる講義、演習プログラムを提供いたします。

3. 受講対象者および定員

- ・ 製造工場の構想企画や建設エンジニアリングに従事される方
- ・ 製造業の企画部門や DX 推進部門などに所属される方
- ・ 工場 DX を支援するコンサルティング会社、IT ベンダーの方
- ・ その他

定員 40 名（会場：28 名、オンライン：12 名）
（先着順に受付け、定員になり次第締切ります）

4. 開催日時および場所

2025 年 7 月 7 日(月) 10:00 ～ 17:00（昼食休憩あり）
場所：一般財団法人エンジニアリング協会（東京都港区麻布台）
および 8 日(火) 10:00 ～ 17:00（昼食休憩あり）
場所：雪印メグミルク(株)阿見工場（茨城県稲敷郡阿見町）

- ※ 7 日のみ、Zoom オンライン参加も可能です。
- ※ 8 日は、阿見工場へお越し頂くことが必要です。JR 土浦駅発着の貸切りバスを手配する予定です。（土浦駅発 9:00 土浦駅着 18:00 予定）

5. 受講料および受講申し込み方法

一般価格：60,000 円/人 賛助会員価格：40,000 円/人（消費税込み）

当協会ホームページからお申込みください。（受付期間 4 月 21 日(月) ～ 6 月 20 日(金)）

受講者募集ページ <https://www.ena.or.jp/seminar/74547>

- ※ お申込受付は定員になり次第、締め切ります。
- ※ 8 日の土浦駅までの交通費、宿泊した場合の宿泊費等は受講料に含まれません。自己負担となります。
- ※ お申込みに当たっては、7 日の会場受講/オンライン聴講を選択してください。
- ※ 申込受付け後請求書を郵送（希望者には E メール）しますので、原則セミナー開催前までに下記口座へお振込みください。

口座名義：一般財団法人エンジニアリング協会
口座番号：三菱 UFJ 銀行本店（普）7641424
みずほ銀行東京営業部（普）1824021

- ※ お振込みくださいました受講料は原則ご返金できません。申し込まれた方が参加できなくなった場合は代理の方がご参加ください。

- ※ 事前学習資料を講義の数日前までに PDF ファイルでお送りします。講義資料は全ての講義、演習が終わった後に PDF ファイルでお送りします。
- ※ 講義中のノートパソコン持ち込み要否、利用条件などについては、講義の数日前までに連絡いたします。

6. 問合せ先

一般財団法人エンジニアリング協会 SP-T1 担当
 TEL：03-6441-2910
 担当：川村、田中

7. 講義プログラム/各講義の概要

スマート工場（工場 DX）実現に向けて、人材育成の観点における課題への対応策を学べる2日間のコースです。

1 日目は工場の生産ライン設計、情報システム構築・運用において経験豊富な講師陣による講義、演習プログラム、2 日目はスマート化、DX が実現している食品工場を実際に見学し、2 項に示すような課題解決に向けたヒントを習得頂けます。

- ※ プログラムは予告なく変更する場合があります。

7月7日（月）

時間	プログラム・講師
10:00 - 10:30	スマート工場とは何か：目標設定と構想検討の着眼点 講師：渡辺 薫（ゴールシステムコンサルティング(株)）
10:30 - 12:00	製造業における「基本的な業務・情報の流れと構造」、それを支える工場系 IT システムの全体像 講師：佐藤 知一（日揮ホールディングス(株)）
12:00 - 13:00	昼食休憩
13:00 - 14:30	MES（製造実行管理システム）を中核とした工場システムの役割と構造について 講師：菅原 一雅（ロックウェル オートメーション ジャパン(株)）
14:30 - 14:45	雪印メグミルク阿見工場：工場見学のポイント（予習） 講師：松本 卓夫（M2 Technology）
14:45 - 15:00	休 憩
15:00 - 17:00	グループディスカッション ※ ディスカッションのテーマ（複数）は別途案内します。 ファシリテータ：講師陣

7月8日(火)

時間	プログラム・講師
10:00 - 12:00	雪印メグミルク(株)阿見工場 見学
12:00 - 13:00	昼食休憩
13:00 - 14:30	見学した工場の解説 ※ 雪印メグミルクの工場関係者から見学した施設等を解説頂き、受講者との間で Q&A も予定しています。
14:30 - 15:00	SCM 領域の事例 計画系／実行系 講師：鍋野 敬一郎（フロンティアワン）
15:00 - 15:30	ECM 領域の事例 PLM（設計、製造技術、生産技術連携）、品質管理 講師：萩原 あづみ（ダッソー・システムズ株式会社）
15:30 - 16:00	ERP 導入、MES 導入などの際に、考慮すべきこと 講師：菅原 一雅（ロックウェル オートメーション ジャパン(株)）
16:00 - 17:00	全体を通じての質疑応答&ふりかえり

8. 講師略歴

渡辺 薫（わたなべ かおる） ゴールシステムコンサルティング株式会社 執行役員 副社長 （略歴） 京セラ、日本電産、DXC テクノロジー、日立製作所等を経て現職。TOC（制約理論）の専門家でもある。
佐藤 知一（さとう ともいち） 日揮ホールディングス株式会社 戦略企画オフィス 経営企画ユニット チーフエンジニア （略歴）1982 年 日揮株式会社入社、現職に至る 博士（工学）、中小企業診断士、情報処理技術者（プロジェクトマネージャ） 著書： MES 入門（2000 共著）、BOM/部品表入門（2005 共著 ほか）ほか多数
菅原 一雅（すがわら かずまさ） ロックウェル オートメーション ジャパン(株) グローバルセールス&マーケティング アカウントマネージャー （略歴）カシオ計算機、ビジネスエンジニアリングを経て現職。1994 年に初めて MES にかかわり、以来約 20 年にわたり、SAP や MCFrame 等の ERP や SCM 計画系・MES・WMS といった SCM 実行系、貿易管理システム等の様々なソリューション提案・事業に従事。現職では IT・OT レベル両方の事業に従事。
松本 卓夫（まつもと たかお） M2 Technology(株) 代表取締役 （略歴） 食品業界における生産管理システム構築に従事した経験、博士（工学）
鍋野 敬一郎（なべの けいいちろう） (株)フロンティアワン 代表取締役

（略歴）1989 年米国外資系総合化学デュポン入社。1998 年ドイツシステム大手 SAP 社に転職。2005 年フロンティアワン設立。業務（製造・流通）・システム（主に基幹系）の調査・戦略企画・導入・事業化などに従事した経験。
著書： デジタルファースト・ソサエティ（2019 共著）」

萩原 あづみ（はぎわら あづみ）

ダッソーシステムズ(株)

DELMIA JAPAN Industry Process Consultant Senior Manager

（略歴） 自動車部品メーカーでの生産技術経験を経て、日系ソフトウェア会社にて米国製 CAE ソフトのアジア展開・技術支援に従事。現在はダッソー・システムズにて、3DEXPERIENCE を活用した PLM 起点の設計・製造技術・生産技術連携を推進。業種を問わず、デジタルを活用した持続可能なものづくりプロセス構築を支援している。

著書：めざせ！最適設計 実践・公差解析（2013 共著）

9. PMI PDU について

エンジニアリング協会（ENAA）は米国プロジェクトマネジメント協会（PMI®）のトレーニング・パートナー（ATP：Authorized Training Partner）です。

全てのPM セミナーはPMP®資格の受験および資格の維持に必要な専門教育単位「PDU」（Professional Development Unit）の対象セミナーとなります。

各コース修了後、PDU 証明書を発行いたします。

PMI タレントトライアングル時間配分	
働き方 (Ways of Working)	(調整中) Hr
パワースキル (Power Skills)	(調整中) Hr
ビジネス感覚 (Business Acumen)	(調整中) Hr
計	12.0 Hr (予定)

※ PMI® Authorized Training Partner (ATP) シールは、Project Management Institute の登録商標です。

※ “PMI”、“PMP”は、米国 Project Management Institute, Inc. (PMI) の登録商標です。

